

# 北の子

浜岡北小学校だより 2019年度 11月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」いっぱいの子

＜重点目標＞

みんなで考え みんなで伸びる

## 電子メディアとのつきあい方

右の写真は、2年生の算数「かけ算」の授業の様子です。タブレットに映し出された写真から2の段になるものを見つけ、赤い線で囲む作業をしています。このように、学校では、授業など様々な場面で電子メディアが積極的に活用されており、子どもたちの操作技能も年々向上しています。



現代社会では、スマートフォンなどの電子メディアが広く普及され、人々の仕事や生活になくてはならないものとなっています。そして、今後さらにその重要性が高まることは確実です。しかし、**使用の仕方を誤ると様々な問題が発生**します。ですから、**小学生のうちから必要な知識を身につけ、実生活に生かしていくことが大切**です。

では、本校の子どもたちのインターネットに関する実態は、どうでしょうか。以下は、昨年度のアンケート結果です。

◆学校以外で使ったことのあるもの ①ゲーム機…23% ②スマートフォン…17% ③タブレット…16% ④パソコン…15%
◆インターネットを利用してすること ①動画を見る…23% ②オンラインゲーム…17% ③情報検索…15% ④音楽を聴く…13%
◆インターネットの利用が多いとき（月～金） ①放課後～19:00…46% ②19:00～21:00…39% ③21:00～23:00…10% ④23:00～…5%
◆インターネットの一日平均利用時間（月～金） ①0～1時間…47% ②1～2時間…27% ③2～3時間…14% ④3時間～…12%
◆「困った、いやだった、怖かったこと」があった人の内容 ・既読無視したら怒られた。 ・他人に勝手にログインされた。 ・嫌なことを書き込まれた。 ・知らない人から連絡があった。 ・生活に悪影響が出た。

**夜遅い時間帯や長時間利用している人がかなり多くいる**ことがわかります。**睡眠不足が健康や翌日の学校生活などに悪影響を及ぼす**ことは、だれでも分かることですね。しかもその多くが学習ではなく娯楽といえるでしょう。また、SNSを利用した人の中には「**困った、いやだった、怖かったこと**」があったという人もいました。その内容を読むと、**人間関係への悪影響**や**個人情報漏洩**などの心配もあります。

長時間の使用は、これらの他にどのようなリスクがあるのでしょうか。『スマホが学力を破壊する』の著者である川島隆太氏が7万人の子どもたちを対象に数年間に渡って行った**スマートフォン**についての調査では、**1時間未満はほとんど影響がないが、それ以上は、使用時間が長くなるほど成績が下がる**ということが分かりました。ですから、自己の行動管理がきちんとできる**自己抑制力が鍵**になります。将来、やめたくてもやめられない状態の「ネット依存・ゲーム依存」にならないためには、こういった力の育成が大切です。なお、久里浜医療センターの研究では、「ネット依存・ゲーム依存」になりやすい人となりにくい人について、次のような特徴があることが分かりました。

◆なりやすい人 ・ゲームを肯定する傾向が強い。 ・男性である。 ・衝動性が高い。 ・友人がいない。（少ない。）	◆なりにくい人 ・社会的能力が高い。 ・自己評価が高い。 ・学校（勤務先）で集団にうまくとけこんでいる。 ・学校（勤務先）が楽しいと感じている。
--	---

何事も問題が大きくなってから解決しようとするよりも、**予防に力を入れた方が少ない労力でより大きな成果**をあげることができます。そのためには、**保護者と子どもがそれぞれ自分事として真剣に考えて話し合い、具体的な対策を実行することが大切**だと思います。

（校長 北原 弘明）